

教材①	なんて書いてあるのかな？ラオスから学ぶ学校	
目的： 文字が読めない事を体験し、学習することの大切さを知る。日本とラオスの教育の違いが分かり、外国では学校へ行かず働いている子ども達もいる現状を知り、勉強に向き合う態度を身に付けさせる。		
対象： 小学校中学年～小学校高学年		
時間： 45分		
準備するもの： 世界地図、ラオス語で書かれた文字（水、薬、毒）、ペットボトル3本、日本とラオスの教育について書いたカード、ラオスの子ども達の写真、ワークシート		
学習の流れ		
時間（分）	学習者の活動	進め方とポイント
導入 （3分）	① ラオス語であいさつをする。 ② ラオスの位置を地図で確認する。	○教師はラオス語であいさつをし、児童は復唱する。 ○日本とラオスの距離感を掴ませ、世界には様々な国があり、広いことを視覚から伝える。
展開1 （15分）	③ ラオス語で書かれた三本のペットボトルを使って、薬を買いに行くゲームをする。 （お母さん、兄弟の三役を児童の中から選びロールプレイをする） ④ 今日のめあてを確認する。 「文字が読めることの大切さを考えよう」	○ラオス語で「座る」と書かれたカードを見せ、文字の意味が分かるチームと分からないチームに分ける。 ○文字の読めないチームから三役を決める。教師は店員役になる。 ○文字が読めないことが不便である感覚を持たせ、本時のめあてに繋げる。
展開2 （20分）	⑤ 12枚のカードを日本とラオスのどちらの事を表しているのか、グループでカード分けをする。 ⑥ ラオスの子ども達の写真を見て分かったことをワークシートに書く。 ⑦ ラオスの教育のあり方についての話を聞き、考えた事をワークシートに書く。	○カードをどのように分けたのか理由を考えさせる。 （2～3グループに発表させる。） ○全体でカードを確認する。 ○写真を見て気づいたことをグループで考えさせる。 ○ラオスの教育と日本の教育の違いに気付かせ、考えた事をワークシートに書かせる。
まとめ （7分）	⑧ 自分達の学習の仕方をふり返り、ラオスの学校のあり方と比べて、考えた事を発表し、共有する。	○自分達の授業や勉強に対する姿勢を改めようとする意識を持たせる。 ○全体で共有させる。

学習後の展開

・ラオスの育事情だけでなく、発展途上国における児童労働などの問題にもふれ、学校へ行くことの意味を理解させる。

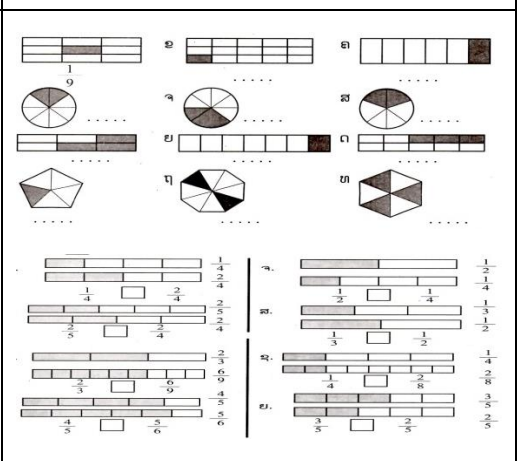
新しい学年に進級するためにはテストに合格しなければいけない。

学校へ通うのは
小学校 5年間
中学校 4年間
高校 3年間

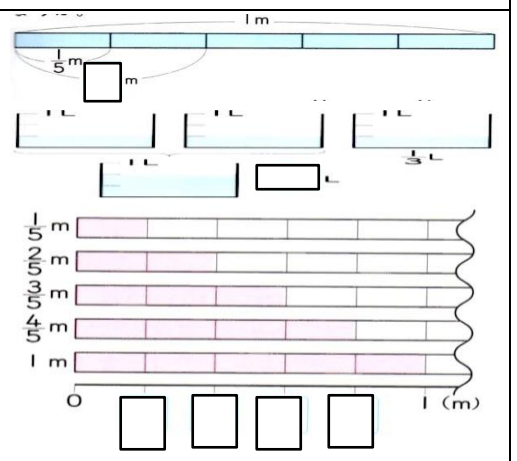
4月になれば、新しい学年になることができる。

学校へ通うのは
小学校 6年間
中学校 3年間
高校 3年間

お昼ご飯は弁当を持ってきて、おかずをこうかんして食べる。



お昼ご飯は、給食が出る。



89.4%



100%



教材3【 フォトランゲージ 】

ກະລຸນານັ່ງລົງ

座ってください

ນ້ຳ

水

ພິດ

毒

ຢາ

薬

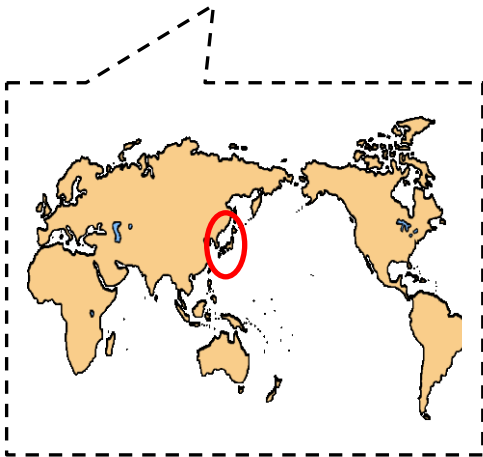
なんて書いてあるのかな？ラオスの学校から学ぼう！



年 組 番 名前 ()

1 「ラオス」ってどこにあるのかな？ラオスの場所に色をぬろう！

ヒント！



2 ラオスの子どもたちの写真を見て分かった事・気付いた事を書いてみよう！

Blank rounded rectangular box for writing.

3 ラオス学校と日本の学校のことので気付いた事、分かった事を書こう！

Blank rounded rectangular box for writing.